

令和3年度 社会福祉法人修倫会事業報告

I 基本理念

社会福祉法人修倫会は地域と共に、地域福祉のセーフティネットを構成する社会資源として、障がい者支援の役割を担い信頼される法人をめざします。

II 基本方針

「利用者の自己選択」「就労支援の強化」「地域生活支援」をキーワードに、以下の3点を基本方針とする。

- (1) 利用者の人権を尊重し満足度の高い福祉サービスに努める。
- (2) 各事業所及び職員の連携を強化し、社会資源やネットワークの活用に努める。
- (3) 職員は、支援者としての役割を自覚し専門性の向上に努める。

III 経営事業

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の事業を行った。

○第二種社会福祉事業

- (1) 障害福祉サービス事業
 - 就労継続支援B型（定員40名）「松柏園」
 - 就労継続支援B型（定員40名）・共同生活援助（定員22名）「みずき園」
 - 就労継続支援B型（定員20名）「あすリード本舗」
- (2) 一般相談支援事業
 - 地域移行支援・地域定着支援「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」
- (3) 特定相談支援事業
 - 特定相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」
- (4) 障害児相談支援事業
 - 障害児相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」
- (5) 障害者就業・生活支援センター事業〈生活支援等事業〉
 - 「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

○公益事業

- (1) 障害者就業・生活支援センター事業〈雇用安定等事業〉
 - 「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

IV 令和3年度重点項目

法人が経営する「松柏園」、「みずき園」、「あすリード本舗」、「チャレンジドセンター久慈」の4事業所が相互に連携し協働のもと、激変する経営環境を見極めながら、次の項目に取り組んだ。

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

法人が策定する「新型コロナウイルス感染防止対策取組方針」に沿い、全事業所が連携して感染予防に努めた。その結果、利用者1名の感染が確認されたが感染拡大には至らなかった。

2月11日（金）に松柏園利用者1名の感染が判明し、保健所の指示を仰ぎながら対応した。濃厚接触者等（職員3名、利用者8名）が全事業所で確認されたことを重視し、全事業所を2月14日（月）から1週間臨時休業とし感染蔓延防止に努めた。濃厚接触者等のPCR検査は全員陰性であり、休業期間中に体調の変化が見られる利用者、職員がなかったことから、2月21日（月）に全事業所の運営を再開した。

また、2月の後半から久慈地域で感染者が急激に増加し、職員・利用者の同居家族の職場や学校、保育所等で感染者が発生したため、同居家族の検査結果が判明するまで自宅待機を余儀なくされるケースが急増した。複数の職員が一定期間不在となったため、提供するサービスや作業に優先順位を付け、必要に応じて代替措置をとるなどして継続的にサービスを提供した。

感染症が発生した場合に備え、継続的にサービスを提供できる体制を構築するための業務継続計画は未策定であるが、今回得られた経験を基に内容の検討等、必要な準備を進めた。

(2) 経営基盤の強化

事業経営の中心となる就労継続支援B型事業の利用者増に向け、地域の利用希望者ニーズを探り、その受け入れを積極的に図ったが、他法人の比較的新しい事業所を希望する方が多く、利用者増には至らなかった。

地域が競合状態にあるため、新規利用者の獲得に向けては特別支援学校新卒者の受け入れが不可欠であるため、新型コロナウイルス感染対策を十分に講じたうえで、可能な限りの実習受け入れを行った。その結果、高等部3年生2名があすリード本舗利用を希望し、令和4年度の受け入れにつながった。

(3) 人材の確保と育成

福祉人材確保が厳しい状況の中、職員の定着を図るため、今年度も処遇改善加算を取得し、定期昇給と賞与の一部に反映させる等処遇改善に努めた。また、今年度創設された福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金を活用し、令和4年2月に全職員を対象とした基本給のベースアップを実施した。

職員研修については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外部研修への参加を原則見合わせ、真に必要な研修への参加に限定して対応した。

(4) 持続可能な事業運営

労働法制の改正や人材不足により人件費が増加傾向にあり、厳しい財政状況に置かれている。このため、現行サービスへの影響が極力出ないように配慮しつつ、可能な部分での支出削減に努め、財政の安定化を図った。

新型コロナウイルス感染者の発生に伴う臨時休業により、収入見込みの下方修正を行うとともに、次年度収入不足が見込まれる拠点で運営資金積立金を積み増す等、減

収への備えを行ったが、事業運営は非常に厳しい状況である。予定外の減収や支出に対する備えが重要になっている。

V 法人の運営

1 評議員会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	評議員 (定数7)		
定 時 6月23日	5		(1) 報告事項 令和2年度事業報告について (2) 議案 令和2年度計算書類及び財産目録の承認について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事の選任について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事の選任について

2 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催日	出席者数	内 容
第1回 6月16日	委員5名中5名 (外部委員2名中2名)	(1) 議案 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会評議員の選任について

3 理事会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	理 事 (定数6)	監 事 (定数2)	
第1回 5月10日	6	2	(1) 報告事項 経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について (2) 議案 社会福祉法人修倫会評議員選任・解任委員の補欠選任について
第2回 6月7日	6	2	(1) 議案 令和2年度事業報告について 令和2年度決算について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事候補者の選定について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事候補者の選定について 令和3年度定時評議員会の招集について

			<p>任期満了に伴う社会福祉法人修倫会評議員候補者の推薦について</p> <p>令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>令和3年度第1次補正予算について</p>
<p>第3回 6月23日</p>	6	2	<p>(1) 報告事項</p> <p>令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の開催結果について</p> <p>(2) 議案</p> <p>社会福祉法人修倫会理事長の選定について</p> <p>社会福祉法人修倫会専務理事の選定について</p> <p>社会福祉法人修倫会顧問の委嘱に関し同意を求めることについて</p> <p>任期満了に伴う社会福祉法人修倫会評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>任期満了に伴う社会福祉法人修倫会第三者委員の選任について</p>
<p>第4回 11月26日</p>	6	2	<p>(1) 報告事項</p> <p>理事長等職務執行状況の報告について</p> <p>障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）事務指導の実施結果について</p> <p>(2) 議案</p> <p>令和3年度第2次補正予算について</p>
<p>第5回 3月17日</p>	6	1	<p>(1) 報告事項</p> <p>理事長等職務執行状況の報告について</p> <p>新型コロナウイルス感染者の発生と対応について</p> <p>福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金について</p> <p>令和3年度障害福祉サービス事業者等の実地指導の実施結果について</p> <p>(2) 議案</p> <p>給与規程の一部変更について</p> <p>有期契約職員就業規則の一部変更について</p> <p>令和3年度第3次補正予算について</p> <p>就業規則の一部変更について</p> <p>ハラスメント防止規程の制定について</p> <p>身体拘束禁止に関する指針の制定について</p> <p>定款細則の一部変更について</p> <p>令和4年度事業計画について</p> <p>令和4年度予算について</p> <p>事務局長の任命について</p>

4 監事監査

監査等	開催日	内 容
決算監査	5月26日	令和2年度業務執行状況及び財産状況監査 監 事：佐々木信蔵、勝田好正 説明者：間健倫理事長、田代順専務理事、 各事業所管理者4名及び事務員4名
出納調査	5月26日	1月～3月までの会計執行状況
	8月27日	4月～6月までの会計執行状況
	11月24日	7月～9月までの会計執行状況
	2月22日	10月～12月までの会計執行状況

5 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 (1) 会計顧問 (2) 決算監査 (3) 税務顧問

6 福祉サービスに係る苦情解決事業

(1) 苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。

(2) 苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付はありませんでした。

7 虐待防止の取り組み

(1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

(2) 虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

(3) 虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当者と構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は5回開催し、職員倫理綱領の周知や職員セルフチェックの活用と課題検討を行った。また、職員研修を計画したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

8 地域における公益的な取組

(1) 「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度のサポート対応はありませんでした。

9 情報公開

(1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項等について公開した。

○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、役員等名簿、事業の概要、計算書類

○積極的な公表事項

事業報告書、財産目録、付属明細書、監査報告書、社会福祉充実残額算定シート

○自主公表事項

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（2回）

(2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

10 研修の状況

職員研修については、新型コロナウイルス感染予防の観点から、真に必要な外部研修への参加に限定して対応した。

また、例年実施している集合形式の法人職員研修会を中止とし、虐待防止に係る同一テーマの復命研修を事業所単位の内部研修として計画したが、新型コロナ感染防止のため中止となった。

(1) 各施設の職員研修

施設名	内部研修の実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	1	2	4
みずき園	0	1	1
あすリード本舗	0	0	0
チャレンジドセンター久慈	1	12	17
合計	2	15	22

11 役員等の状況（令和4年3月31日現在）

【評議員7名（定数7名）】

田表 一夫 日沢マサ子 田中 泰郎 瀧 重吉
村田 幸江 松野下富則 七十刈清明

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日

満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【理事6名（定数6名）、監事2名（定数2名）、顧問1名】

理事長 間 健倫 専務理事 田代 順 理事 中野 信男
理事 大崎 恵作 理事 間 加壽子 理事 高屋敷真喜子
監事 佐々木信蔵 監事 勝田 好正 顧問 河野 貫治

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日

満了年月日：令和5年6月に開催される定時評議員会終結の時

【評議員選任・解任委員5名（定数5名）】

外部委員 岩崎 壽吉 外部委員 宇部 繁 監事 佐々木信蔵
監事 勝田 好正 事務局員 渡辺 和光

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日

満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【第三者委員2名（定数2名）】

神田 秀子（元評議員） 神田 光子（元民生児童委員）

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日

満了年月日：令和5年6月に開催される定時評議員会終結の時

1.2 職員配置（令和4年3月31日現在）

施設名	職員数	内 訳		
		常用職員	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	15	7	2	6
みずき園	28	11	6	11
あすリード本舗	11	7	2	2
チャレンジドセンター久慈	6	6	0	0
合 計	60	31	10	19

VI 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・令和3年度松柏園事業報告
- ・令和3年度みずき園事業報告
- ・令和3年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・令和3年度あすリード本舗事業報告
- ・令和3年度チャレンジドセンター久慈事業報告

VII 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和3年度 松柏園事業報告書

1 総括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、加齢に伴う退所者が1名あったものの、年度当初に新規利用者2名が利用開始したことにより、平均利用者数は安定した利用となった。一方、2月には利用者1名の新型コロナウイルス感染が判明したため、直ちに1週間の臨時休業措置をとるなど蔓延防止に努めた結果、感染拡大することなく事業再開することができた。

就労支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のイベントが中止となり売上の機会が減少し、仕入れにおいても燃料や資材の高騰等があり、収益に大きな影響をうけた。ただし、経費の削減や営業努力により利益の確保に努めた結果、平均工賃月額が30,523円となり目標額を上回ることが出来た。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (令和4年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
園長 (管理者)	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
目標工賃達成指導員	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	4	2		2		3.4
業務員	1			1		0.7
職業指導員補助	1			1		0.8
事務員	1	1				1
運転手	2			2		0.8
合 計	15	9		6		12.7

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の障がい特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、各種の園内行事を創意工夫しながら実施した。

- ・夏の行事（七夕飾り・どら焼き作り）、秋の行事（小久慈焼き体験）、忘年会、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 39名（利用率93%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、健康診断を年1回（2月）実施。また、希望者（19名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス対象者数 41名（利用率98%）

(8) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回4月）を実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

4 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性(人)	27	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	314	26.2
女性(人)	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	191	15.9
合計(人)	42	43	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	505	42.1

(2) 障害種別

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
程度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	2	9	0	2	1	1	0	23	1	2	0	1	42
小計	15						23		4				

(3) 年齢別

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	1	8	3	8	10	12	42	49.7歳

(4) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
人数	27	7	5	3	0	42

5 施設利用状況

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	22	20	22	22	22	22	21	22	21	20	15	23	252
延利用者数(人)	831	758	845	835	827	826	797	816	776	750	549	844	9454
1日平均利用者数(人)	37.8	37.9	38.4	37.9	36.6	37.5	37.9	37.1	36.9	37.5	36.6	36.6	37.4
利用率(%)	89.9	88.1	91.5	90.4	89.5	89.4	90.4	88.3	88	89.3	87.1	87.4	89.1

6 就労支援事業の状況

(1) 年間就労支援事業収入

作業科	収入(円)	前年度対比(%)
クリーニング	30,436,775	94.4%
縫製	2,094,182	93.2%
シルクスクリーン印刷	15,436,073	113.1%
合計	47,967,030	99.6%

(2) 工賃支給状況

	令和3年度目標	令和3年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	30,500円	30,523円	30,514円

(3) 各科の状況

<クリーニング科>

主力となる4施設の入所者私物クリーニングは順調に推移し、昨年度とほぼ同額の確保となった。

宿泊施設のリネンリースは、契約していた宿泊施設が7月をもって閉館したため、売り上げが前年比47.4%減となった。

一般クリーニングは、新規で民間事業所のユニホームの受託、学校等の団体への継続的な営業活動により、安定した売り上げを確保する事ができた。

設備面では、燃料費高騰が続いている中、ボイラーや洗濯・乾燥機等の使い方の効率化を図り、燃料費削減に向けた対策を徹底して行った。

クリーニング収入内訳(円)		前年比%
施設利用者私物(老健等4施設)	22,154,425	99.0
リネンリース(旅館1か所)	2,129,172	52.6
基準寝具業務(特養1施設)	1,747,896	100.4
一般(団体等)	4,405,282	107.6
計	30,436,775	94.4

<縫製科>

年間売上は前年比6.8%減となった。A社、B社は新型コロナウイルス感染症の影響もあり生産の変更や生産数の減少が見られた。昨年9月から受託を開始したC社からの糸切り作業は、安定した作業量をいただく事ができた。

作業面においては生産数向上に向けアイロン仕上げの指導を行った。また、高齢の利用者が多いため、安全面に配慮しながら作業を行うと共に、日々の健康面等の状態を把握しながら無理のない作業へ取り組めるよう配慮した。

縫製収入内訳(円)		前年比%
子ども服仕上げ受託縫製事業所A社	1,063,904	85.2
バック付属品受託縫製事業所B社	736,636	86.6
ジャージ糸切り受託縫製事業所C社	293,642	199.9
計	2,094,182	93.2

<シルクスクリーン印刷科>

年間売上は、前年比 13.1%増となった。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、秋祭りや学校行事関係、あまちゃんマラソン等と大口で注文をいただいているイベントが中止となったが、情報を収集しながら営業を行い、代替イベント等の注文をいただき売り上げ向上へ繋げた。また、対応や品質、スピードといった点から口コミによる新規の注文も多くいただく事ができている。

作業面では、タオル・Tシャツの刷り作業の技術指導を行い生産数向上を図った事により、利益確保に繋がった。

シルクスクリーン印刷 収入内訳（円）		前年 比%
タオル類	4,668,718	104.9
Tシャツ類	4,878,960	127.3
のぼり旗類	3,335,610	135.8
その他のアイテム	2,552,785	87.7
計	15,436,073	113.1

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	1	「松柏園だより」発行		
	6	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
	9	親睦会総会	食堂	利用者 40、職員 6 名
	13	避難訓練	園敷地内	利用者 40 名、職員 12 名
5	12	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
6	24	夏の行事	ホール・食堂	利用者 39 名、職員 12 名
7	1	「松柏園だより」発行		
	8	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
8	13	特別工賃支給		
	14~15	お盆休み		
9	9	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
10	1	「松柏園だより」発行		
	19	秋の行事	食堂	利用者 39 名、職員 13 名
	21	避難訓練	園敷地内	利用者 39 名、職員 13 名
11	10	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
12	9	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
	15	特別工賃支給		
	16	忘年会	食堂	利用者 39 名、職員 14 名
	24	クリスマス会	食堂	利用者 36 名、職員 13 名
	29	大掃除		
	30~1/4	年末年始休み		
1	4	「松柏園だより」発行		
2	8	利用者健康診断	みずぎ園	利用者 40 名
3	24	慰労食事会	食堂	利用者 38 名、職員 12 名

*毎月15日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	園長、主任	法人内全事業所の運営について
年4回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

（1）施設内研修

実施日	研修名	講師	場所	参加職員	参加人数	研修内容
11/23	令和3年度職員内部研修	生活支援員	事務室	全職員	10名	「発達障がい者などの障がい特性の社会での活かし方」 復命

（2）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
11/5	令和3年度第2回事業所対象研修会	久慈市自立支援協議会	ロイヤルパークカワサキ	施設長 生活支援員	2名	行政説明 講演 発達障がい者などの障がい特性の社会での活かし方
2/17	令和3年度工賃引上げ支援セミナー	岩手県	オンライン会議室	職業指導員 職業指導員	2名	第1講座 「販路開拓に向けた実践事項」 第2講座 「生産性改善に向けた実践事項」

令和3年度 みずき園事業報告書

1 総括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、新型コロナウイルス感染症に関連して、ワクチン接種や副反応による欠席や盆正月の家族の帰省に伴う利用控えなどが散見され、出席率及び平均利用者数が低下した。

就労支援事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、主力商品の売上の減少、年2回開催のバザーが今年度も中止となるなど厳しい状況が続いた。一方、農福連携による施設外就労の拡充を図ったことにより、年間を通して作業が確保され、授産収入の減少を補うことができ、平均工賃月額は前年度を若干上回ることが出来た。

利用者支援においては、前年度に引き続き、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、創意工夫をこらした園内行事や選択して参加できるクラブ活動等を行い、満足度の向上と登園意欲を維持出来るように支援した。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
- (6) 職員の配置状況（令和4年3月31日現在） (単位：人)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
園長（管理者）	1	1				1
総務課長	1	1				1
事務員	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
職業指導員	5	3		2		4.6
生活支援員	3	3				3
目標工賃達成指導員	1	1				1
調理員	3			3		1.8
運転手	2			2		1.1
合 計	18	11		7		15.5

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

- ・支援検討会議 年2回実施

(2) 作業支援

利用者個々の障がい特性を考慮した上で作業科を決定し、基本的に同一作業科を継続して取り組んだ。また、高齢化や障がい特性により作業への取り組みに一定の配慮を要する利用者が増加傾向であるため、創作活動や農園作業等の多様な活動を組み入れ、心身の安定と作業意欲の維持向上を図った。

(3) 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、各種の園内行事を創意工夫しながら実施した。

- ・春の行事（ミニレク）、夏の行事（アウトドアクッキング）、秋の行事（ミニ運動会）、プチ忘年会、クラブ活動（ダンス、インドアゲーム、モノづくり）、ミズキまつり、慰労食事会

(4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年1回（2月）施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種（11月・23名）を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し（年2回）、少食を希望する利用者へも対応しながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 39名（利用率97.5%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の298円

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者36名（利用率90%）

(7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による総合防災訓練（年1回10月）、自主避難訓練（年1回4月）を実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

4 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）月別在籍利用者数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276	23.0
女性	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	211	17.5
合計	41	41	41	41	41	41	41	40	40	40	40	40	487	40.5

（2）障害別利用者状況

（単位：人）

	知的障害		身体障害	精神障害	合計
	A判定	B判定	1級	2級	
男性	9	12	1	1	23
女性	6	11	0	0	17
小計	15	23	1	1	40

（3）年齢別利用者状況

（単位：人）

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	4	20	8	6	2	40	39.6歳

（4）出身市町村別利用者状況

（単位：人）

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	25	12	2	1	0	40

5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数（日）	22	21	22	23	22	22	22	22	22	20	15	23	256
延利用者数（人）	802	755	790	803	758	731	763	753	760	677	524	775	8,891
1日平均利用者数（人）	36.5	36.0	35.9	34.9	34.5	33.2	34.7	34.2	34.5	33.9	34.9	33.7	34.7
利用率（%）	88.9	87.7	87.6	85.2	84.0	81.0	84.6	85.6	86.4	84.6	87.3	84.2	82.4

6 就労支援事業の状況

(1) 年間事業収入

科 目	収 入 (円)	前年度対比 (%)
食 品 製 造 事 業	3, 8 6 6, 8 4 2	9 4 . 0
リ サ イ ク ル 事 業	1, 7 8 6, 7 6 0	9 4 . 1
製 粉 事 業	1, 4 1 6, 4 5 8	1 0 0 . 7
受 託 事 業	3, 6 1 5, 5 4 0	9 7 . 9
合 計	1 0, 6 8 5, 6 0 0	9 6 . 2

(2) 工賃支給状況

	令和3年度目標	令和3年度実績	備考 (前年度実績)
平均工賃月額	5, 0 0 0 円	6, 0 2 9 円	5, 7 4 2 円

(3) 各事業の状況

<食品製造事業>

食品製造事業は、売り上げが前年を下回り、コロナ禍による影響が継続して見られた。

主な取引先の観光物産館や産直等は、観光客の減少、イベントの中止等により受注も少なく前年並みとなった。

ギフト販売も前年より減少したが、春先に他社とのセット商品の大口受注があり、減少幅を抑えることが出来た。

利用者支援では、作業科担当の利用者が減少したため、利用者間で作業を分担できるよう支援しながら取り組んだ。

収入内訳 (円)		前年度対比%
菓 子 類	2, 6 0 9, 8 1 9	9 7 . 9
ギ フ ト 販 売	1, 2 5 7, 0 2 3	8 7 . 0
計	3, 8 6 6, 8 4 2	9 4 . 0

<リサイクル事業>

リサイクル事業は、既存の作業量が激減する中、農福連携等の施設外作業に力を入れた結果、前年に近い売り上げを確保できた。

農福連携作業では、椎茸農家での菌床片付け作業に加え、今年度は新たに菌床返し作業が加わったことにより、年間を通じて作業に取り組むことが可能になり、前年より112.0%増加した。

空缶等リサイクル作業では、農福連携作業を優先したため作業時間が減り、前年より5.5%減少した。

古着等リサイクル作業では、復興工事の終了に伴うウエス需要の落ち込みや、年2回のバザー販売が今年度も中止になったことにより前年比46.1%と大幅に減少した。また、コロナ対策に伴い、一般家庭からの古着の回収を見合わせており、バザー用品やウエスの原料が不足している状況であるが、回収再開の時期や方法等が課題である。

利用者支援では、施設外作業に従事する利用者の身体的な負担を軽減するため、作業日程の調整を行ったり効率的な作業を心がけるなど、利用者の体調面に配慮しながら取り組んだ。

収入内訳 (円)		前年度対比%
空 缶 等 リ サ イ ク ル	5 8 6, 3 7 0	9 4 . 5
農 福 連 携	7 1 9, 2 5 0	2 1 2 . 0
古 着 等 リ サ イ ク ル	4 8 1, 1 4 0	5 3 . 9
計	1, 7 8 6, 7 6 0	9 4 . 1

<製粉事業>

製粉事業は、前年からほぼ横ばいで推移した。

加工受託は一般顧客からの受注は減少したが、桑販売業者からの受託が好調であったことと、海藻販売業者から新規の受託があったことから前年より 8.9%増加した。

粉製品等の販売はコロナ過の影響が続き、産直等が伸び悩み前年より 8.7%減少した。

収入内訳 (円)		前年度 対比%
加工受託	820,811	108.9
販売	595,647	91.3
計	1,416,458	100.7

<受託事業>

松柏園の給食業務では、安定した給食の提供のため情報共有して取り組んだ。

利用者が作業に集中できる環境づくりを心掛け取り組んだ。

収入内訳 (円)		前年度 対比%
給食業務	3,615,540	97.9
計	3,615,540	97.9

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	18	第1回家族会役員会・決算監査	食堂	家族会役員7名、職員3名
	26	自主避難訓練	園敷地内	利用者、職員
	26	年間皆勤賞表彰式	食堂	対象利用者9名、利用者、職員
	29	お茶会	食堂	利用者、職員
	29	みずき通信「春号」発行		
5	10	家族会総会（書面議決）	食堂	家族会役員6名、職員3名
	23	第2回家族会役員会	園内	利用者、職員
	29	春の行事（ミニレク・お菓子作り）		
6	8.9.10	クラブ活動（ダンス、インドアゲーム、ものづくり）	食堂	利用者
	14~25	久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ	園内	実習生1名
	21~25	〃	〃	実習生1名
7	17	夏の行事（アウトドアクッキング）	園敷地内	利用者、職員
	30	みずき通信「夏号」発行		
8	20	夏期特別工賃支給		利用者
	18.26.31	クラブ活動（ダンス、インドアゲーム、ものづくり）	食堂	利用者
9	22.23.28	クラブ活動（ダンス、インドアゲーム、ものづくり）	食堂	利用者
10	22	自主避難訓練	園敷地内	利用者、職員
	4~15	久慈拓陽支援学校後期実習受け入れ	園内	実習生1名
	11~22	〃	〃	実習生1名
	29	みずき通信「秋号」発行		
	30	秋の行事（ミニ運動会）	園内	利用者、職員
11	15~16	インフルエンザ予防接種	関上こどもクリニック	利用者23名、職員7名
	15~19	久慈拓陽支援学校後期実習受け入れ	園内	実習生1名

12	11	プチ忘年会	園内	利用者、職員
	20	冬期特別工賃支給		利用者
	24	クリスマス会	園内	利用者、職員
	29	年末大掃除・仕事納め式	園内	利用者、職員
	30～1/3	年末年始休暇		利用者、職員
1	4	仕事始め式	作業室	利用者、職員
	14	ミズキまつり・成人を祝う会	作業室	利用者、職員
	31	みずき通信「冬号」発行		
2	8	利用者健康診断	園内(岩手県予防医学協会検診車)	利用者
	11	冬の行事(琥珀ペンダント作り)	園内	利用者、職員
3	21	慰労食事会	食堂	利用者、職員
	27	第3回家族会役員会	食堂	家族会役員7名、職員3名

※毎月20日は工賃支給日、体重測定、ごちそう給食の日

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月1回	工賃支給会議	全職員	利用者の工賃支給額の決定について
年2回	支援検討会	園長、支援員	利用者の個別支援計画について
毎月1回	グループホーム支援会議	園長、担当支援員、全世話人	4ホームの運営全般について
毎月1回	各グループホーム個別支援会議	担当支援員、世話人	入居利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議(4事業所合同)	園長、担当職員	各事業所の運営について
年2回	工賃評価会議	園長、担当職員	利用者の作業能力評価について
年4回	給食会議(松柏園、みずき園合同)	園長、担当職員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

(1) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
2/17. 23	令和3年度工賃引き上げ支援セミナー	岩手県保健福祉部	オンライン開催	目標工賃達成指導員	1名	第1講座 「販路開拓・生産性改善に向けた実践事項」 第2講座 「生産性改善に向けた実践事項」

令和3年度 共同生活援助事業報告書

1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

年間を通じて充足率99%を維持したが、疾病による長期入院や自宅への長期外泊する利用者が数名おり利用率は前年より下回った。また、B型事業所を利用している利用者1名が一般就労に向けて市外地へ移住するため退所し、かねてよりグループホームでの生活が難しく他施設への移行に向けて待機中だった利用者1名が入所施設への受入れが可能となり3月末で退所となった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い体温測定、行動履歴の確認等感染対策を実施しながら利用者の心身状態の変化を見守り、医療機関や関係機関と連携し支援を行った。

2 共同生活住居の所在地及び利用定員

名称	所在地	利用定員	総定員
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	女性5人	22人
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	男性5人	
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	男性6人	
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	男性6人	

3 職員の配置状況（令和4年3月31日現在）（単位：人）

職種	員数	常勤	非常勤	常勤換算後の員数
管理者	1	1		1
サービス管理責任者	1	1		1
生活支援員	2	2		1.2
世話人	8	4	4	5.7
合計	12	8	4	8.9

4 利用者の状況

（1）月別・ホーム別在籍利用者数

（単位：人）

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
のどかハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
きららハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	71	99%
合計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	263	99%

(2) 障害支援区分別利用者状況

(単位：人)

障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	12
区分2	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	9	124
区分3	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	115
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	263

(3) 出身市町村別利用者状況

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	計
利用者数	11	6	2	1	1	21

5 サービス内容

(1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の同意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

(2) 食事の提供

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した(朝食：7:00～ 夕食：18:00～)。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応を行った(朝食、昼食、夜食)。

(3) 入浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。利用者の心身状態に応じ入浴準備、見守り支援を行った。

(4) 排泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

(5) 地域生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続きの同行、代行支援を行った。

(6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、コロナワクチン接種、食事栄養指導等への同行支援を行った。

(7) 余暇支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により感染症対策を優先しながら、利用者一人ひとりの希望を尊重しホーム内での交流や楽しみを取入れ、余暇の充実に繋げた。＜誕生日会、クリスマス会等＞

(8) 相談支援

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

災害時を想定した避難、通報、消火訓練を4ホーム合同、各ホーム毎に実施。(2月)

災害時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施予定(3月)だったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

水害時を想定した避難、通報訓練を2ホーム(みずき・なごみ)実施。(7月)

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	園長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議(ホーム毎)	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について

9 職員研修の状況

実施なし。

障がい者福祉協議会県北ブロック協議会主催の「グループホーム世話人等研修会」(2月12日開催)に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため参加取り止め。

令和3年度 あすリード本舗事業報告書

1 総括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労継続支援B型サービスを提供した。

利用者の状況は、4月にみずき園より1名の移動があり21名でのスタートとなった。8月に1名が病気死亡により退所、3月末で1名が九戸村の(株)ナインズファームで農業研修を受けるため退所した。

年間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響が出た1年で、ワクチン接種による欠席が散見された他、2月には法人内事業所利用者の感染判明に伴い、感染拡大防止のため1週間の臨時休業措置をとるなど対応に追われた。

就労支援事業においても影響が大きく、大型連休や盆暮れの帰省者が昨年に続き少なく商品の動きが鈍かった。

また施設行事も施設外での開催ができなく、施設内での食事会や忘年会の開催となった。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成30年10月1日
- (3) 定員 20名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目
麺製造作業、菓子製造作業、販売事業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（令和4年3月31日現在）

（単位：人）

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
事務員	1	1				1
生活支援員	1	1				1
職業指導員	4	4				4
目標工賃達成指導員	1	1				1
運転手	2			2		1. 1
合 計	11	9		2		10. 1

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービスの提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労希望者に対し、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいづくり等の支援を行うため、利用者自治会への支援を実施した。

(5) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、健康診断を2月に実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と体調確認を行うとともに、手指消毒の徹底を行った。

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤ができない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス対象者数 19名

(7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回5月）を実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

(9) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

4 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）月別在籍利用者数

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	173	14.4
女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6.0
計	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	245	20.4

（2）障害別利用者状況

（単位：人）

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数		1						16	2	1			
小計	1						16		3				20

（3）年齢別利用者状況

（単位：人、才）

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数		7	4	9			20	35.8

（4）出身市町村別利用者状況

（単位：人）

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	計
人数	12	5	3		20

5 施設利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数 （日）	22	20	22	22	22	22	21	22	21	20	15	23	252
延利用者 数（人）	423	372	421	417	404	408	387	394	378	375	267	422	4667
1日平均利 用者数（人）	19.2	18.6	19.1	19.0	18.4	18.5	18.4	17.9	18.0	18.8	17.8	18.3	18.5
利用率 （%）	91.6	88.6	91.1	90.3	87.4	92.7	92.1	89.5	90.0	93.8	89.0	91.7	90.7

6 就労支援事業の状況

本年度の就労支援事業収入は34,930千円と前年対比98.6%と前年を下回る実績となった。

昨年に続き新型コロナウイルス感染症により年度初めから人の動きが悪く、商品の動きも鈍く、受託事業を除き収入減となった。

しかし、収入はほぼ前年並みを確保したものの、円高基調や海外情勢により原材料費の高騰が続き、特に当施設の主力商品である製麺事業において小麦粉の値上げが大きく、授産収支は△483千円となった。

(1) 年間事業収入

項 目	収 入 (円)	前年度対比 (%)
食品製造事業	1, 6 9 7, 0 4 9	98.0
製麺事業	2 5, 3 9 4, 6 3 8	96.5
販売事業	1, 2 5 4, 7 3 6	87.3
受託事業	6, 5 8 3, 6 0 2	110.6
合 計	3 4, 9 3 0, 0 2 5	98.6

(2) 工賃支給状況

	令和3年度目標	令和3年度実績	備考 (前年度実績)
平均工賃月額	2 9, 0 0 0	2 8, 3 3 1	2 8, 2 5 2

(3) 各事業の状況

<食品製造事業>

年間売上は1,697千円となり、前年より34千円減の98.0%となった。

部門収支は△1,218千円と相変わらずマイナス収支だが前年よりは561千円回復した。

商品の動きが鈍いということで、作業量も減少したが、受託作業との連携のより利用者の作業を確保することができた。

収 支 状 況 (円)		
収入	かりんとう	1, 348, 928
	その他菓子類	348, 121
	計	1, 697, 049
支出	製 造 原 価	2, 910, 352
	販 売 管 理 費	4, 912
	計	2, 915, 264
部門収支		△1, 218, 215

<製麺事業>

年間売上は 25,394 千円となり、前年より 970 千円減の 96.5%となった。

商品別の売上は、大野ふるさと公社向け赤鶏ラーメン、めかぶラーメンが前年対比 80.3%と減少したが、他の商品はほぼ前年並みの売上となった。

麺類については、帰省客の減少により量販店への納品が年間を通じて伸び悩んだ。

部門収支は原材料の高騰もあり、前年より 2,101 千円減と大幅に減少した。

小麦粉については期中に 2 回の値上げがあり、当初の仕入れ価格より 1 袋当り 425 円、13.5%値上がりし、またそれ以外の原材料も値上げとなった。

収 支 状 況 (円)		
収入	袋・パック・箱	7,689,529
	麺 類	14,738,722
	ス ー プ 類	2,912,736
	計	25,340,987
支出	製 造 原 価	19,810,942
	販 売 管 理 費	2,670,446
	計	22,481,388
部門収支		2,859,599

<販売事業>

年間売上は、1,254 千円となり、前年より 183 千円減の 87.3%となった。

お中元、お歳暮ギフトの際、「青の国ふだい」からこんぶ饅頭、昆布ラーメンを仕入販売したが前年対比 52.1%となったことが大きかった。

みずき園からクッキー、サブレ等を仕入れて販売も行った。

部門収支は前年より 16 千円減となった。

収 支 状 況 (円)		
収入	ギ フ ト 商 品	994,050
	そ の 他	260,686
	計	1,254,736
支出	製 造 原 価	1,140,661
	販 売 管 理 費	58,101
	計	1,198,762
部門収支		55,974

<受託事業>

年間売上は、6,637 千円となり、前年対比 110.6%と増加した。

木炭の袋詰め作業の受託については、注文が集中する時期もあったが注文に間に合わせた生産が行われ、前年対比 97.3%と前年並みとなった。

のだ塩作業の受託については、のだ塩製造量の増加に伴い作業量が増え、前年対比 119.1%となった。

また、年間を通じておおのミルク工房よりアイスカップ等のシール貼の依頼があり対応した。その他としては、わかめの袋詰め、ドレッシングの製造、山ぶどうの作業も行った。

部門収支は、前年より 523 千円減となった。

収 支 状 況 (円)		
収入	の だ 塩 作 業 受 託	3,611,894
	炭 作 業 受 託	2,443,470
	その他作業受託	582,889
	計	6,637,253
支出	製 造 原 価	8,817,361
	販 売 管 理 費	0
	計	8,817,361
部門収支		△2,180,108

7 主要行事

月	日	行事等	場所	参加者等
5	19	自主避難訓練	園庭	利用者・職員
6	9	野外昼食会（バーベキュー）	園庭	利用者・職員
10	19	施設行事（スポーツ大会）	園庭	利用者・職員
10	20	総合防災訓練	園庭	利用者・職員
12	8	忘年会	施設内	利用者・職員
12	24	クリスマス会	施設内	利用者・職員
1	11	成人を祝う会	施設内	利用者・職員
2	8	利用者健康診断	みずき園	利用者
3	30	慰労食事会	施設内	利用者・職員
毎月1回		手話講習会	施設内	利用者・職員

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議	施設長、担当職員	法人内全事業所の運営について

9 職員研修の状況

新型コロナウイルス感染症の影響により研修未実施

令和3年度 チャレンジドセンター久慈事業報告

1. 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

区分	計画内容	具体的実施状況
1 人件費	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を行う。	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を行った。
2 事業費	<p>○障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。</p> <p>○事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。</p> <p>○障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。</p> <p>○在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着の促進を図る。(年5回)</p>	<p>○障害者からの相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象障害者数 133名 ・相談支援件数 1,991件 ・就職件数 13件 <p>○事業主に対する助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象事業所数 32社 ・相談支援件数 79件 <p>○職場実習等のあっせん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あっせん件数 13件 <p>○主な相談支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業を中心に支援への協力を働きかけ、職場実習を行った。 ・再就職に向けた取り組みや事業所対象研修会を開催し就職への支援を行った。 <p>○在職中の支援対象者を対象として、年2回以下の事業内容で開催した。</p> <p>第1回 令和3年6月10日(木) 「金融回避トラブルを学ぶ」講師 東北財務局 盛岡財務局 ※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止</p> <p>第2回 令和3年8月5日(金) 「働きながらも使える福祉サービス」講師 久慈市福祉事務所 在職者…8名参加</p>

	<p>○ 障害者就業・生活支援センターにおける就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(就業支援担当者1名)</p> <p>○ その他、岩手県並びに関係機関及び団体が主催する会議・研修に参加し資質の向上に努める。 (主任就業担当者1名、就業支援担当者2名)</p> <p>○業務の円滑かつ有効な実施に資するため、岩手労働局、ハローワーク、岩手障害者職業センター、県北広域振興局、久慈市、洋野町、野田村、普代村、等の関係機関との連携を図る。</p> <p>○久慈地域障害者自立支援協議会就労分科会と連動しての連絡会議を開催し、関係機関との連携</p>	<p>第3回 令和3年10月14日(水)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため延期して開催 令和3年12月3日(金) 「知ってみよう、成年後見制度」 講師 久慈権利擁護センター 在職者…6名参加</p> <p>第4回 令和3年12月3日(金) 「ストレスと上手に付き合うためには」講師 久慈保健所 ※新型コロナウイルス感染症感染防止のため内容変更</p> <p>第5回 令和4年2月10日(木) 「一年後への私へ」 ※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止</p> <p>○令和3年11月30日主任就業支援担当者1名が参加し、高等学校における特別支援教育の充実に向けた秋田県の関係事業等について及び好事例発表(青森・岩手・秋田)について学んだ。</p> <p>○令和3年4月23日に令和3年度第1回岩手県就業・生活支援センター協議会総会及び研修会に主任就業支援担当者1名が参加し、「権利擁護支援と成年後見制度の活用について」学んだ。</p> <p>○令和3年6月17日沿岸地域4センター会議に主任就業支援担当者1名が参加し、関係機関との連携、企業開拓、定着率の向上などについて学んだ。</p> <p>第1、2回 新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止 第3回 令和3年8月26日(木) 書面決議</p>
--	---	--

	<p>を図る。 (年5回)</p>	<p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回職場説明会の中止について ・第3回在職者交流会の延期について ・第2回事業者対象研修会について <p>第4回 令和3年10月28日(木)</p> <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回事業者対象研修会について ・第3回在職者交流会について ・第2回職場説明会について <p>第5回 令和4年1月27日(木) 書面決議</p> <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回在職者交流会について ・令和4年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について <p>第6回 新型コロナ感染症感染防止のため中止</p>
--	-----------------------	--

2. 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）実施結果

支援対象者数	133名 (登録解除者33名)	障がい種別ごとの対象者数	身体16名 知的67名 精神40名 その他10名			
新規支援者数	19名	障がい種別ごとの対象者数	身体1名 知的6名 精神10名 その他2名			
継続支援者数	100名	障がい種別ごとの対象者数	身体13名 知的56名 精神25名 その他6名			
相談件数	2,117件	(内訳 家庭訪問 15件 職場訪問 147件 その他 1,955件)				
相談内容	<p>(1) 主に就労面を中心とする相談 1,898 件 : 離職者や求職者への就労に向けた生活状況の確認や助言等 在職者への通勤方法や職場の人間関係への相談支援や助言等</p> <p>(2) 生活面を中心とする相談 219 件 : 休日の生活の相談支援や助言等 通院に関する相談支援や助言等</p>					
基礎訓練実施者数及び 実施施設	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 みずき園	実施者数	0 名		
	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 松柏園	実施者数	0 名		
	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 あすリード本舗	実施者数	0 名		
関係機関との連携状況 (主な事例及び連携の 内容について記載)	<p>支援対象に合わせ、県内の就業・生活支援センターや久慈地域障害者自立支援協議会就労支援分科会、各相談支援専門員と連携し支援を行っている。</p> <p>(1) 一人暮らしへの支援</p> <p>(2) 通勤に係る支援</p> <p>(3) 医療機関と連携した支援や通院同行等</p> <p>(4) 結婚・出産等、生活技術に関する支援。</p> <p>(5) 年金申請等の権利擁護に関する支援を相談支援専門員など関係機関と連携して行った。</p>					

3. 相談支援事業実施報告

(登録者数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	160	24	0	111	19	6	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	160	24	0	111	19	6	0	0

(支援方法)

支援方法	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	296	68	25	251	43	190	364	0	1237

(支援内容)

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	1029	6	51	68	4	26	13	27	20
支援内容	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	0	61	0	1305					

(その他)

	巡回相談出席	関係機関会議出席	研修会等出席	ケア会議(I)	ケア会議(II)	専門機関への紹介	計
件数	0	20	4	6	184	0	214

4. 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
7月21日	職員研修会	所長	全職員	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア会議の進め方について ・登録者のケース会議を実施しての研修

(2) 施設外研修

実施日	研修名	主催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
4月23日	令和3年度第1回岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会職員研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市 ふれあいランド岩手	主任就業支援ワーカー	1名	・権利擁護支援と成年後見制度の活用について
5月27日	令和3年度ジョブコーチ支援事業推進協議会	岩手県障害者職業センター	花巻市 ポリテクセンター岩手	主任就業支援ワーカー	1名	・令和3年度ジョブコーチ支援事業の方針
6月17日	令和3年度第1回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	オンライン開催	相談支援専門員	1名	講演 『久慈地域の自殺対策と取組とネットワーク活動の重要性』
7月15日	令和3年度第2回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	オンライン開催	相談支援専門員 生活支援ワーカー	2名	講話 『支援者のセルフケア～身体と心を癒すケア』
7月30日	第1回職場で障がい者を理解する学習会	医療と労働・福祉のネットワーク	宮古市 シートピアなど	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者を雇用する上で必要な手続きに関して ・岩手県障害者職業センターの取組について

9月14日～ 9月17日	令和3年度9 月職場適応援 助者養成研修 (集合研修)	独立行政法 人高齢・障 害・求職者雇 用支援機構	千葉県 障害者職 業総合支 援センタ ー	主任就業 支援ワー カー	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における雇用管理実際 ・作業指導の実際 ・職場定着のための支援 ・障害特性と職業的課題 ・ジョブコーチ支援の実際 ・事業主支援の基礎理解 ・訪問型職場適応援助者の役割
9月15日	生産性向上支 援訓練	岩手職業能 力開発セン ター	久慈市 久慈高等 職業訓練 校	就業支援 ワーカー 相談支援 専門員	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるプレゼン資料 作成について
9月16日	令和3年度第 4回久慈地域 メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	オンライ ン開催	相談支援 専門員 生活支援 ワーカー	2名	<p>講話</p> <p>『震災から10年～これか らの被災地におけるメンタ ルヘルス～』</p>
10月6日～ 10月8日	令和3年度9 月職場適応援 助者養成研修 (実技研修)	独立行政法 人高齢・障 害・求職者雇 用支援機構 岩手障害者 職業センタ ー	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手職業 センター ・みちのく コココー ラ花巻工 場 ・ユニクロ イオンモ ール盛岡 南店 	主任就業 支援ワー カー	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの視点と支援 計画に関する理解 ・地域における関係機関の役 割とネットワークの活用 ・ケースから学ぶジョブコー チ支援の実際 ・職場適応援助者の支援 (2ヶ所事業所での支援)
10月21日	令和3年度第 5回久慈地域 メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	オンライ ン開催	相談支援 専門員 生活支援 ワーカー	2名	<p>講話</p> <p>『アルコール依存症の方へ の関わり』</p>

11月30日	令和3年度障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック経験交流会	厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課地域就労支援室	オンライン開催	主任就業支援ワーカー	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・高校における特別支援教育の充実に向けた秋田県の関係事業等について ・好事例発表（青森・岩手・秋田）
1月24日	久慈圏域医療的ケア児等の支援に係る関係機関連絡会	岩手県久慈保健所	久慈市役所	相談支援専門員	1名	<p>講演 『医療的ケア児・者の支援推進会議等による支援』</p>